

Full Speed

月刊SEOレポート 2019年7月版

Monthly **SEO** Report

Vol.111



03 検索エンジン最新トピック

09 検索ランキングの変動状況

SEO Report

検索エンジン
最新トピック

Section 01

検索エンジン最新ニュース

検索エンジンに関わる最新ニュースをご紹介します。

日付	タイトル	概要	詳細
6/3	コアアルゴリズムのアップデート実施。名称は「The June 2019 Core Update」	コアアルゴリズムのアップデートが2019年6月3日から7日にかけて実施されました。名称は「The June 2019 Core Update」です。今回は珍しく実施する旨を事前周知しており、規模や影響が大きいわけではないようです。	-
		https://twitter.com/searchliaison/status/1135275028834947073 https://twitter.com/dannysullivan/status/1137208250628280323	
6/6	Google、「Site Diversity」のアップデート実施	Googleは検索結果上位に同ドメインのページが2つ以上表示されないようにするアップデート「Site Diversity」を実施しましたことをTwitterでコメントしました。	P05
		https://twitter.com/searchliaison/status/1136739062843432960 https://twitter.com/jumpingknee/status/1136806172537659392	
6/10	構造化データを使って、検索結果での表示をより良くしましょう	構造化データについて複数の記事でさまざまな情報を紹介する予定です。今回は構造化データの概要、成功事例、おすすめの方法について説明しています。	-
		https://webmaster-ja.googleblog.com/2019/06/enriching-search-results-structured-data.html	
6/13	Google、新しい検索インターフェイスをリリース	Googleは、検索画面上段のニュース、ビデオ、画像、地図、ショッピングなどの検索メニュー部分のレイアウトを変更したことを発表しました。	P06
		https://searchengineland.com/google-launches-new-search-menu-with-icons-318248	
6/18	Google Search Consoleの「使用するドメインの設定」廃止	Google Search Consoleの「使用するドメインの設定」が廃止になりました。今後は、Google側で自動的に優先するページを選択します。	P07
		https://webmasters.googleblog.com/2019/06/bye-bye-preferred-domain-setting.html	
6/20	Google Search Consoleで構造化データのモニタリングする	サイトの構造化データをモニタリングして最大限に活用するために、Google Search Consoleでできることについて説明しています。	-
		https://webmaster-ja.googleblog.com/2019/06/monitoring-structured-data-with-search-console.html	
6/27	Webmaster Conference: 最適なイベントをあなたに	Google検索をテーマとしたイベント「Webmaster Conference」を世界各地で開催することを発表しました。カンファレンスへの参加やGoogle検索関連情報の入手が困難な地域や、特に検索イベントの必要性が高い地域で開催されるようです。	-
		https://webmaster-ja.googleblog.com/2019/06/webmaster-conference.html	
6/27	LINE、検索サービス「LINEサーチ」を発表	LINE株式会社はカンファレンス「LINE CONFERENCE 2019」内で、検索サービス「LINEサーチ」を発表しました。LINEのトークやOAなどだけでなく、LINE NEWSやLINEマンガなどの各サービスやLINEが保有するデータベースを統合して、検索することが可能になるようです。	-
		https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2019/2784	

「Google : 「Site Diversity」 のアップデート実施」

今月のトピックス01

Googleは、検索結果上位に同一ドメインのページが2つ以上表示されないようにするアップデート「Site Diversity」を実施しましたことをTwitterでコメントしました。

「Site Diversity」のアップデートとは

検索結果の多様性を目的とし、検索結果上位に同一ドメインのページが2つ以上表示されることを防ぎ、さまざまなドメインが表示されるようにするアップデートが「Site Diversity」です。

検索結果上位に表示されるページが同じドメインのページばかりになっている、違うWebサイトからいろいろな情報を得たいというユーザーのフィードバックから、今回の実装に至ったとのことでした。

「Site Diversity」のアップデートの内容

「Site Diversity」のアップデートについて、周知された内容を共有します。

・サブドメインも対象となるのか？

このアップデートでは、サブドメインも同じドメイン（ルートドメイン）として扱われます。ただし、検索キーワードと関連性が特に高いと判断された場合には別のサイトとして扱われ、検索結果に2つ以上表示される可能性があります。

・コアアルゴリズムとの関係は？

同時期に実装されたコアアルゴリズムのアップデート「June 2019 Core Update」とは別のアップデートと明言しています。

・検索ランキングへは影響する？

「Site Diversity」のアップデートの実装により、一部のページが検索結果に表示されなくなるため、結果的に検索順位に影響しますが、「Site Diversity」自体はランキングを決めるアルゴリズムではないため、直接順位に影響するものではありません。

「Google : 新しい検索インターフェイスをリリース」

今月のトピックス02

Googleは、検索画面上段のニュース、ビデオ、画像、地図、ショッピングなどの検索メニュー部分のレイアウトを変更したことを発表しました。

検索メニューの変更内容

今まで、検索画面上段のニュース、ビデオ、画像、地図、ショッピングなどの検索メニュー部分はテキストのみの設置でしたが、以下のように、アイコンを含む内容になりました。

▼今までの検索メニュー



▼変更後の検索メニュー



モバイル検索は以下のように、変更されていないようです。



「Google : Google Search Consoleの「使用するドメインの設定」が廃止」

今月のトピックス03

Google Search Consoleの使用するドメインの設定が廃止になりました。今後は、Google側で自動的に優先するページを選択します。

「使用するドメインの設定」とは？

「使用するドメインの設定」とは、「wwwあり」と「wwwなし」のどちらを正規と認識させるかをGoogleに伝えるGoogle Search Consoleの機能です。

Googleは「wwwあり」と「wwwなし」を別ドメインとして認識します。別ドメインとして認識させたままにしておくと、Googleからの評価が分散してしまうため、正規とするドメインを定めて評価を集約する（正規化）必要があります。そんなときによく利用されていたのが「使用するドメインの設定」です。

優先するドメインを伝える方法

優先するドメインを伝える方法はいくつかありますが、可能であれば、301リダイレクトを使用した方法を実施することを推奨します。

- ・ **HTMLページでrel = " canonical" リンクタグを使用する**

重複ページに正規ページへのリンクを示す <link> タグを追加します。

- ・ **rel = " canonical" HTTPヘッダを使う**

ページのレスポンスで、rel=canonical ヘッダーを送信します。

- ・ **サイトマップを使用する**

XML形式のサイトマップで正規ページを指定します。

- ・ **301リダイレクトを使用する**

301リダイレクトを使用して、リダイレクト先のURLが正規ページであることをGoogleに伝えます。

イベント情報

Webマーケティングに関わるイベントやセミナーなどお役立ち情報をご紹介します。



インターネット・マーケティングフォーラム 大阪

2019年7月11日（木） ※無料（事前登録制）

【大阪府】ハービスHALL

<https://www.net-mc.jp/osaka2019/>



美容・ヘルスケア業界向け

Google マイビジネス & コンテンツ活用セミナー

2019年7月24日（水） ※無料（事前登録制）

【東京都】株式会社フルスピード本社 会議室

<https://www.sp-world.jp/ja-jp.html>



日経 xTREND FORUM TOKYO 2019

2019年7月24日（水）～7月25日（木） ※無料（事前登録制）

【東京都】赤坂インターシティコンファレンス

<https://expo.nikkeibp.co.jp/xtf/2019/info/>



Google Cloud Next '19 in Tokyo

2019年7月31日（水）～8月1日（木） ※無料（事前登録制）

【東京都】東京プリンスホテル・ザ・プリンス パークタワー東京

<https://cloud.withgoogle.com/next/tokyo>



デジタルマーケターズサミット 2019 Summer

2019年8月29日（木） ※無料（事前登録制）

【東京都】ステーションコンファレンス東京

<https://webtan.impress.co.jp/events/201908>

SEO Report

検索ランキングの
変動状況

Section 02

検索ランキングの変動状況サマリー

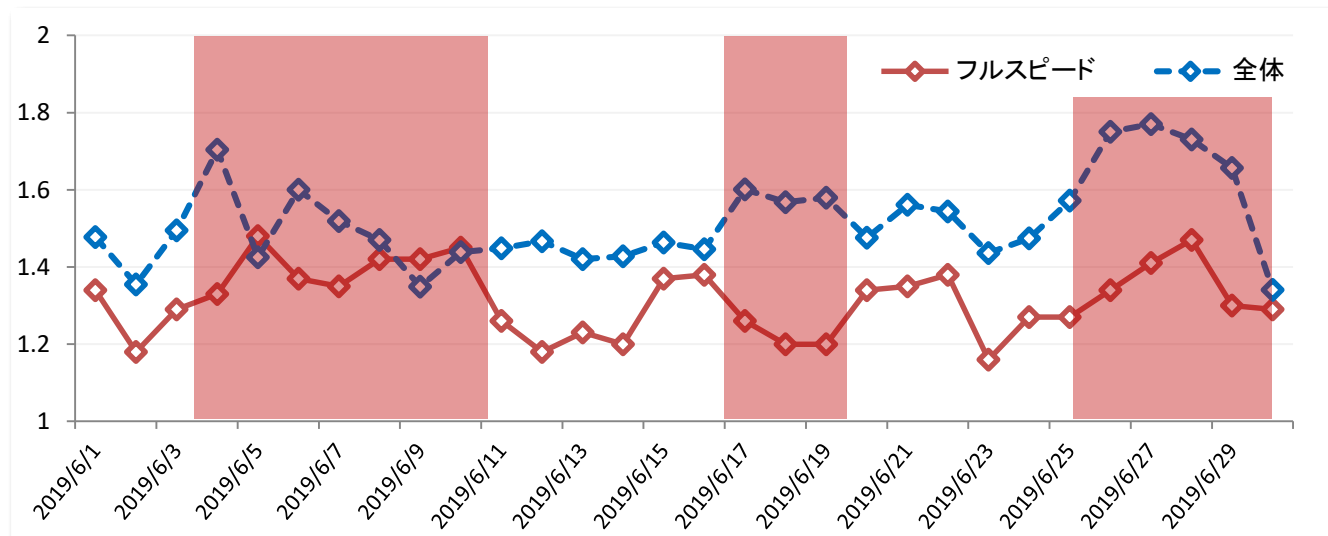
2019年6月の検索ランキングに関するサマリーコメント

以下、「Googleの検索ランキング変動率の推移」の赤枠の時期に順位変動が確認されました。

コアアルゴリズムのアップデート「The June 2019 Core Update」が6月3日から6月7日にかけて実施され、同時期にGoogle検索結果に同一ドメインのURLを2件以上表示させない「Site Diversity」のアップデートが行われました。順位変動があった場合は、日々の順位変動の影響か、上記いずれかのアップデートの影響を受けた可能性があります。

先月、本レポートにてお伝えした通り、7月1日からモバイルファーストインデックスがデフォルトになります。モバイル対応が不十分なサイトは早めに改善するようにしましょう。

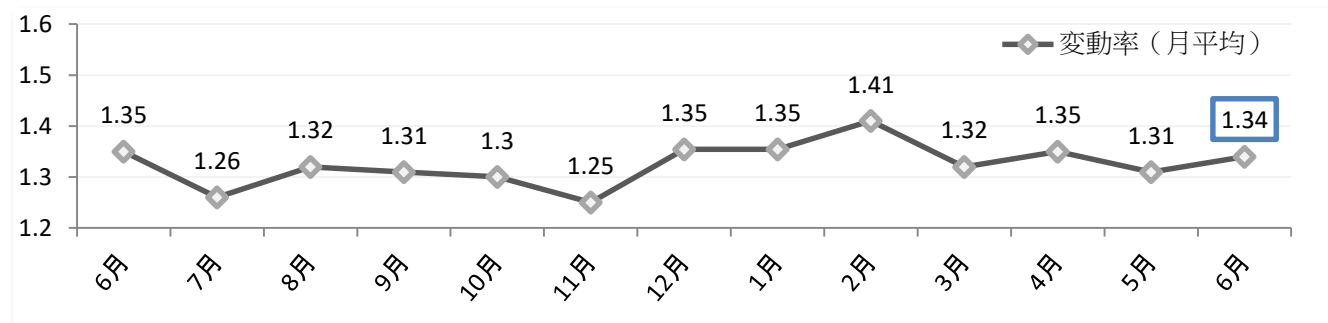
Googleの検索ランキング変動率の推移（2019/6/1～2019/6/30）



グラフの項目

全体 弊社で観測している様々なキーワードも含む市場全体の順位変動傾向

フルスピード 弊社で対策を実施しているキーワードの順位変動傾向



※変動率に使用したデータ：

上位表示される難易度に応じ、フルスピードが独自に選定しモニタリングしているビッグキーワード・ミドルキーワード・スモール/複合キーワードの数千キーワードのデータを使用、独自の計算に基づき算出しています。

Googleの公式発表ではありませんのでご注意ください。

月刊SEOレポート 2019年7月版

- Monthly SEO Report Vol.111 -

発行 2019年7月3日

発行者 WEBマーケティング部

SEOコンサルタント 岡

発行所 株式会社フルスピード (<http://www.fullspeed.co.jp/>)

東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー8F

03-5457-7727

1. 当社が独自に調査した結果をまとめた2019年6月末の情報です。
2. 全体傾向をまとめたレポートとなりますので、お客様サイトの状況と合致していない内容も含まれていることをご理解ください。
3. 無断複製・無断配付・無断公開は禁止しております。



Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

Full Speed

“ココロ ∞ テクノロジー”